

軍事大国化阻止・光州蜂起連帯・81年三里塚二期着工阻止

10.21 国際反戦デーに総決起

日刊 動労千葉

80.10.23
No. 564

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五八〇九・公衆電話（22）七二〇七

日比谷野音に三七四名の結集、千葉本町公園

十・二一国際反戦デー闘争は大高揚のうちに勝ちとられた。十・一九中央総決起集会（代々木公園）に一二五〇名に続いて、十・二一国際反戦デーの闘いは千葉県労連（本町公園）二六〇〇名および三里塚と闘う労働者・人民を中心とした中央集会（日比谷野音）四二〇〇名という圧倒的な結集のうちに勝ちとられたのである。動労千葉は、この秋期・反戦三里塚総決起闘争を八一年三月ジェット決戦勝利への突破口として位置づけ、全組合員の総決起をもって臨み、十・一〇集会（一〇五名）↓十・一九闘争（二〇七名）↓十・二一闘争（三七四名）というかつてない結集と高揚を勝ちとり、勝利への不動の確信をうち固めた。「本部」反動分子の敵対をうちやぶり全組合員一丸となって実現したこの地平をしっかりと踏み固め、更に八乗務員運用合理化粉碎ノから八三月ジェット燃料輸送延長阻止ノの歴史的勝利へむかつて力強く前進していこう。



決意表明に立つ、布施組織部長・片岡津田沼支部長
「革マル松崎の破壊策動打ち破り、81年3月へ！」—10.21 日比谷野音—

「八一・三勝利」へむけた
総決起を宣言
東京・日比谷野音

雨をもものともせず結集した四二〇〇名の闘う仲間、埋め尽された日比谷野音では、十三時より開会され、以下の団体・人士からの発言をうけた。
①十・一九一沖縄行動団 ②「むつ」を闘う佐世保漁民 ③全国水平塾・大野氏 ④三里塚百万人動員長野県実行委・佐藤氏 ⑤日本原農民・驚田氏 ⑥関西新空港に反対する明石住民の会・加田氏 ⑦同、姫路生命を守る会・中島氏 ⑧美術評論家・ヨシダ氏 ⑨沖縄民権の会・古波津氏 ⑩反戦自衛官・小西三等空曹 ⑪ジャーナリスト・川田泰代氏 ⑫救援連絡センター・水戸氏 ⑬砂川基地拡張反対同盟・宮岡氏。続いて東京実行委代表世話人の浅田光輝氏からの「八一年三里塚の大爆発で軍事大国化を阻止しよう」との「基調報告」

告」さらに、動労千葉・関川委員長、北富士忍草母の会・渡辺会長、反対同盟・熱田副行動隊長、淡路空港反対期成同盟・永井氏、安保沖縄決戦破防法被告・松尾氏等々の発言が行われ第一部を終了した。
第二部では約百名の代表団で登壇した空港反対同盟を代表して、長谷川たけ氏・石毛常吉氏・市東東市氏・三浦五郎氏・鈴木幸司氏が決意表明を行ない、続いて、二二三名の大部隊で参加した動労千葉を代表して布施組織部長・片岡津田沼支部長をはじめとする決意表明が行われ、ガンパローの三唱ののち、全員が夜の都心デモを貫徹した。

県下労働者の先頭で闘う

千葉・本町公園

千葉県労連等を中心とした護憲反安保千葉県実行委の主催による「十・二一国際反戦デー千葉県集会」は、千葉市・本町公園に約二六〇〇名を集集し、十八時より開始された。動労千葉は、東京動員とは別に一五一名の部隊で参加し、県下労働者との連帯のもと、集会・市内デモを貫徹した。
十八時、社会党・千教組・川鉄代表の三名の司会を選出したのち、主催者を代表して井原県労連議長のおいさつに続いて、社会党・渡会県委員長、土屋県婦人会議議長、および朝鮮総連、キリスト教団、在日韓国人政治犯家族同胞の会より連帯のあいさつをうけた。
そして、社会党・市川県本部副委員長からの「基調報告」を全体の拍手で確認したのち、スローガンを採択し、団結ガンパローをもって、千葉駅前までの市内デモに出発した。動労千葉からの一五一名の参加者はデモの後、総括集会を行い、関川委員長長の団結ガンパローをもってこの日の行動を終了した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよノ